

世界糖尿病デー2019@北野病院



世界糖尿病デーとは；



拡大を続ける糖尿病の脅威を踏まえ、2006年12月20日、国連は国連総会議で、IDFが要請してきた「糖尿病の全世界的脅威を認知する決議」を加盟192カ国の全会一致で可決しました。同時に、従来、国際糖尿病連合（IDF）ならびに世界保健機関（WHO）が定めていた11月14日を「世界糖尿病デー」として指定しました。IDFは決議に先駆け、「Unite for Diabetes」（糖尿病との闘いのため団結せよ）というキャッチフレーズと、国連や空を表す「ブルー」と、団結を表す「輪」を使用したシンボルマークを採用。全世界での糖尿病抑制に向けたキャンペーンを推進しています。

日本国内でも東京タワーだけでなく通天閣をはじめとする全国20ヶ所以上の建造物がブルーにライトアップされ各地で協力イベントや糖尿病の脅威を訴える講演会等が催されます。

北野病院でも、糖尿病療養指導チームのメンバーを中心に患者様を支えるべく、下記の様な取り組みを実施致しますので、お立寄り下さい。

日時：11月13日（水）11：00～12：30
場所：北野病院 5階 プラナホール
参加：糖尿病療養指導チームのメンバー

主な内容

- ・世界糖尿病デーのポスター展示
- ・糖尿病の予防・治療・療養に関するポスター展示
- ・防災グッズの展示
- ・ビデオ上映
- ・簡易血糖測定器での血糖測定体験
- ・握力測定
- ・糖尿病相談コーナー（糖尿病療養指導チームのメンバーによる）
- ・栄養指導ポスター展示



午後2時から第6会議室
におきまして糖尿病教室を
開催致しますのでこちらも
是非お立ち寄りください

“きたの栄養バランス御膳” (1000円)

13日(水)のみ、(限定30食)5階 レストラン**ひまわり**にてご準備いたします。

